

# 『敬老の日』読書のすすめ

## 心ゆたかに生涯読書

(読書推進運動協議会選定)

書　　目	内　　容	著　　者
・『村上海賊の娘 上・下』	戦国最強の信長軍に攻め立てられる大坂本願寺。海賊王の娘・景は戦に身を投じるが…。今年度本屋大賞受賞作！	和田 竜
・『恋歌』	歌人・中島歌子の秘めたる想い。幕末の過酷な運命に翻弄された女の一生を描く感動作！	朝井 まかで
・『政と源』	簪職人の源二郎と元銀行員の国政は、ふたり合わせて146歳の幼なじみ。下町を舞台に繰り広げられる人情物語。	三浦 しづん
・『団塊の秋』	団塊の秋は、日本民族の秋—。西暦2015～2028年、彼らの想定外の人生に直面する。未来の新聞記事つき。	堺屋 太一
・『鉄童の旅』	1981年、北海道から東京までひとりで旅をする男の子がいた。せつなくて、あたたかい、人と鉄道の「絆」の物語。	佐川 光晴
・『悪医』	現役の医師でもあり作家でもある著者が、満を持して取り組んだ「悪い医者とは？」を問いかける感動の医療長編小説。	久坂部 羊
・『大晩年』	ベストセラー『大往生』から20年。「死ぬのが怖くなつた」実感や日常、両親や友との思い出を語る。	永 六輔
・『60歳からしておきたいこと』	団塊の世代に向けた「老前整理」と「旅立ち支度」の指南書。ベストセラー著者・坂東真理子が書く老活と終活。	坂東 真理子
・『年寄り半日仕事』のすすめ	80歳でエベレストに登頂した成功の秘訣は「年寄り半日仕事」。目標を持ち地道に進むことの大切さと勇気を伝える一冊。	三浦 雄一郎・三浦 豪太
・『加齢なる日々』	『サンデー毎日』人気連載、待望の書籍化！日々押し寄せる《老いるショック》と朗らかに向き合う知恵が満載。	小川 有里
・『独居老人スタイル』	あえて独居老人でいることは、この国を生きる有効なスタイルかもしれない。16人の魅力的な独居老人たちを紹介。	都築 韶一
・『103歳 世界最速のおじいちゃんスプリンター』	100歳で100メートル走の世界新記録！「生きること」の意味や目的、健康長寿の秘訣を綴った一冊。	宮崎 秀吉
・『83歳の女子高生球児』	戦争で通えなかった学校へ再び！いくつになっても学べること、諦めないことの大切さを語る、感動の青春物語。	上中別府チエ
・『87歳。紫竹おばあちゃん幸せの花園』	本書は四季を彩る写真と文章で、北の原野に花園を拓いた紫竹おばあちゃんの歩みを綴った本です。	紫竹 昭葉
・『父の生きる』	いつか死ぬ、それまで生きる。詩人・伊藤比呂美が、遠距離介護を通して、親の最後に寄り添った三年半の記録。	伊藤 比呂美
・『わたしだって看取れる』	だれもが過緊張になり、後悔するもの。看取りの心を、小さなホスピスの徳永医師が、83ものエピソードで紡ぎ出す。	徳永 進
・『大・大往生』	東日本大震災、緩和ケア病棟のガン患者など、老いと死にどう向き合うか、ときにシリアルスに、ときにユーモラスに提言。	鎌田 實
・『辞書になった男』	2013年にNHKBSで放映され、ATP賞最優秀賞に輝いた、『ケンボー先生と山田先生』がついに書籍化！	佐々木 健一
・『曲り角のその先に』	NHK連続テレビ小説「花子とアン」の主人公・村岡花子。花子のエッセイ集第2弾！貴重な作品満載！	村岡 花子

# 『敬老の日』読書のすすめ

## 心ゆたかに生涯読書

(読書推進運動協議会選定)

書 目	内 容	著 者
・『メイコの食卓』	芸能界ならではの“豪華な宴”、毎朝作った子どもたちのお弁当、メイコ流ズボラ飯… メイコの食卓にいらっしゃい！	中村 メイコ
・『緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で』	国連難民高等弁務官として、国際社会で評価された緒方貞子。その半生を追ったNHKスペシャルの待望の出版化！	小山 靖史
・『戦国史を歩んだ道』	全国の城めぐり、史料発掘、史跡保存、時代考証…。「趣味の世界」といわれた戦国史研究、その開拓の半生を語る。	小和田 哲男
・『紙の本は、滅びない』	迷いこめ、本の樹海へ！現役書店員が本の海に漂う航海のなかで「紙の本」の存在理由と優位性を真摯に探る。	福嶋 聰